

県民の皆さまへ

ウイルスを運ぶ「マダニ」は命にかかわる感染症を起こす危険があります

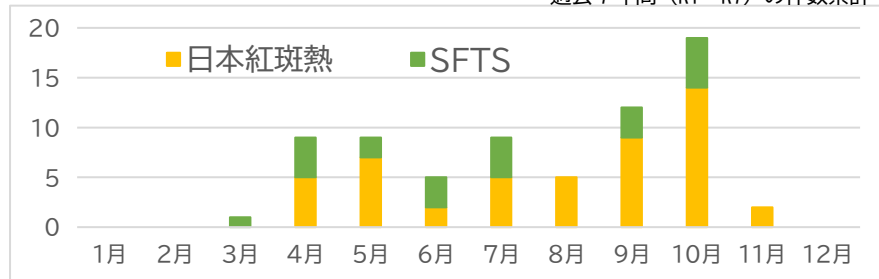
▶ ダニ媒介感染症は、毎年発生しています

香川県におけるダニ媒介感染症の年間発生件数（R7.5.16 現在）

	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
SFTS	4	3	2	1	7	5	0
日本紅斑熱	6	7	8	8	7	12	1

▶ 3月から11月に、発生しています

過去7年間（R1～R7）の件数累計



▶ マダニに咬まれない複数の工夫をしよう

肌を露出
しない

防虫スプレー
を活用

作業着は
外で脱ぐ

作業後はマダニを
チェック

- ◆長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴、帽子、手袋を着用、首筋にはタオルを巻くなど、肌の露出をなくしましょう。
- ◆防虫スプレーを噴霧しましょう。（防虫に有効な成分：ディート、カリジン）
- ◆地面に直接寝転んだり、腰を下ろしたりしないようにしましょう。
- ◆屋外活動後は、シャワーや入浴で、マダニが付いていないかチェックしましょう。
- ◆作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう。
- ◆やぶ等で、犬や猫などにマダニが付くことがあります。ダニ駆除薬がありますので獣医師にご相談ください。

マダニに
咬まれたら

マダニを無理に引きぬかず、医療機関（皮膚科）に処置をお願いしましょう
咬まれた後、数週間は発熱など体調の変化に注意し、気になる症状は医療機関に
相談をしましょう

重症熱性血症板減少症候群 （SFTS）

マダニに咬まれ、SFTSウイルスに感染することにより引き起こされる病気で、咬まれてから6日～2週間後に、発熱（38度以上）、食欲低下、吐き気、おう吐、腹痛、下痢などの症状がでます。

日本紅斑熱

マダニに咬まれ、日本紅斑熱リケッチアに感染することにより引き起こされる病気で、咬まれてから2日～8日後に身体がだるい、高熱（39～40度以上）、発疹などの症状がでます。